



1月18日 婦孺小諸間県道昇格を県へ陳情



発行責任者：山岸喜昭
 〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320
<http://asama-kaze.com> E-mail voice@asama-kaze.com



2月定例議会にて一般質問

2月定例会 一般質問 議会報告

抜粋

長野県原産地呼称管理制度について

【山岸】県原産地呼称管理制度は10年が経過し、見直しの時期と考える。来年度実施予定の「百花繚乱！信州日本酒プロジェクト事業」等と連携し、農産物の価値を磨き、販売や観光振興につなげることを重要。制度への参加意欲を高めるために、この制度の成果と課題は？

【産業労働部長】全国に先駆けて導入したこの制度による認定累計数は、約4700品に及ぶ。認定率も当初の50%から最近では90%と、品質向上に寄与していると考えている。しかし、手続きの煩わしさ等から申請を諦める傾向もあった。今後、事業者の利用を二層促すために、審査書類の簡素化や基準、審査回数等の検討をし、事業者と消費者双方に利用しやすい制度へ見直しを図りたい。

首都圏における移住対策について

【山岸】移住促進には、仕事が必要になる。県内産業の労働力確保にもつながる。移住・Iターン就職者数の状況と移住希望者への支援は？



【企画振興部長】県はこれまで、県内企業への就職希望の方に登録していただく「Iターン登録制度」や転職セミナーや個別相談、銀座NAGANOでの職業紹介等を実施。平成27年度で88人、本年度1月末時点で80人がIターン就職しています。これらに加え、昨年10月にジョブカフェ信州のサテライトを銀座NAGANOに設置。来年度は、就農や就林、起業・創業等、長野県での仕事情報をワンストップで提供する「信州で働くフェア」を首都圏で開催する。他、情報提供の充実を図る。

※詳細は、県議会ホームページでご覧いただけます。

小諸高校にて 県政タウンミーティング開催

1月25日、小諸高校音楽科にて、阿部知事を招いて県政タウンミーティングを開催しました。昨年12月にウィーンに派遣し、世界的演奏者の指導を受けた音楽科生徒による報告会を行いました。



「県政対話集会 in こもろ」開催

1月23日、ステラホールにて小諸市長、佐久地方事務所長、佐久建設事務所長をお招きし、市民の声を聞く場として対話集会を開催しました。小諸市の子ども食堂、災害時のボランティア、高地トレーニング構想、空き家、廃農地、ジオパーク等、幅広いご意見ご要望が寄せられました。これからの県政に反映できるよう努めていきます。



蛇堀川砂防堰堤起工式

浅間山の融雪型火山泥流と、噴火後の土石流を対象とした「火山噴火緊急減災対策」砂防事業として、3月11日、長野県側で初となる「蛇堀川砂防堰堤」の起工式が行われ、いよいよ今年度より工事が始まります。



小諸市エリア 高地トレーニング 推進協議会発足

2月21日、小諸市にオリンピック強化選手等の高地トレーニングを誘致する協議会が発足式が行われました。私も、自衛隊体育学校等に小諸・浅間山麓への誘致活動を行っています。



中部横断道の早期整備を要望

佐久地域の県議、市町村の議員有志をもって「中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連盟」を設立し、2月9日、国土交通省へ中部横断自動車道の早期整備を求める要望書を提出して参りました。



Vol.7 人口減少と少子化問題について 出生率回復に消極的な論調に対して

人口減少や出生率低下の現実を受け入れ難く、人口減対策をしなくてもなんとかなるのではという論調もあるが、この論調を整理してみる。

少子化傾向の中でも、総人口は増加してきたではないか。

これまでは死亡数が少なかったために、出生数が減少するにもかかわらず人口は増加してきた。しかし、これからは死亡数の急増が長く続く、少産多死なので、人口減少は避けられない。人口の急減はこれからである。

経済成長が続けば、人口減少は克服できる。

世界の先進国は成熟期に入っていて、高い成長は期待できない。人口減少と同時に進む生産年齢人口の急減の中では、経済成長の持続は期待できない。

小諸・佐久地域 現地視察調査

1月23、24日の2日間、小諸・佐久地域の視察調査を行いました。小諸市では、駆除したニホンジカを焼却処分や埋葬処分ではなく、ペットフード等に商品化し、雇用と捕獲者の確保につながる野生鳥獣商品化施設と、新ごみ焼却施設を視察。佐久市では関連会社6社が統合、時計の駆動装置製造ラインを集約化したシチズン時計マニファクチャリング(株)ミヨタ 佐久工場と、佐久医療センターを回りました。そして、御代田町役場と、国際社会で変革を起こせるチェンジメーカーの育成を目指し、課題の本質を見極め、様々な知識を結集し答えを見つけ出すデザイン力のある人材を育てる学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK) を視察しました。



来年3月に新庁舎竣工予定の御代田町にて理事者と意見交換、要望聴取

東信の基幹病院である佐久医療センター

世界39カ国から生徒が集まる軽井沢のISAKを視察

昨年秋に竣工したシチズン時計マニファクチャリング(株)ミヨタ佐久工場

ペットフードへ商品化も期待される小諸市野生鳥獣商品化施設



**2月定例
県議会**

**小島「代表質問で県政を質す」
新年度予算などを可決**

2月16日に開会した2月定例県議会は、3月16日までの本会議で、総額8、625億円余の29年度一般会計予算案、屋外広告物条例の一部を改正する条例案、追加の補正予算案、監査委員の選任など知事提出の79議案を審議し、いずれも原案どおり可決・同意しました。

3月14日の本会議では、採決に先立ち県の消防防災ヘリコプター「アルプス」の墜落事故で亡くなられた9名の隊員に哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

会期末の役員改選により、常任委員会構成は別表のとおり決定しました。



本会議でヘリ事故犠牲者に黙祷を捧げる



下沢副議長のもと質問する小島康晴代表

現を重点テーマに予算編成に当たった。「県民参加と協働」が県政の重要テーマだ。

【小島議員】知事の考える地域の振興とは何か。

【小島議員】新年度当初予算案の特徴、知事が県民に一番訴えたいことは何か。

【阿部知事】人口減少対策、地域経済の活性化、多様な働き方・暮らし方の創造、個性豊かな地域づくり、安全安心な社会の実

現を重点テーマに予算編成に当たった。「県民参加と協働」が県政の重要テーマだ。

【阿部知事】それぞれの地域に暮らす方々が地域への愛着、誇りを持つとともに、将来に向けてその地域における夢や希望を持ち続けることができる。ことが地域振興の姿であると思う。

進めよう議会改革!!

選挙区等調査特別委員会では、2月17日に第8回委員会を開催し、総定数に係るこれまでの検討内容の確認や取扱いをどうするかについて、各会派から意見を出し合い、現行58の総定数を「1減」し57とすることを決定しました。3月13日の第9回委

員会では、「選挙区」の見直し検討調査対象に、「上水内郡と長野市」「東筑摩郡と松本市」「下伊那郡と飯田市」「飯山市・下内郡と中野市・下高井郡」の4地域に加え、地元から要望が出ている「軽井沢町・

御代田町と小諸市」とすることを決定しました。3月16日の第10回委員会では、延べ5つの地域に、6月定例会前までに委員が出向き、当該地域の市町村長及び議会関係者との意見交換・調査活動を行い具体的な検討に入っていきます。

知事に緊急申し入れ

子どもの医療費現物給付化を

1月20日、我が会派は、国が30年度から未就学児分に限り補助金の減額措置を廃止することを決めたことを踏まえ、「すべての市町村が義務教育終了(中学校3年生)まで子どもの医療費の現物給付(窓口無料化)を実施できるように支援をすべき」などとする申し入れを行いました。

これに対し阿部知事は「できるだけ足並みをそろえていけるよう市町村と一緒に考えたい」と答えました。県は、1月27日に「検討会」を設置し、窓口で支払わなくて済む仕組みや子どもの対象範囲をどうするかなどの議論を進めています。当会派提出の子ども医療費に係る意見書案は、3月2日、自由民主党県議団が反対するも可決し、内閣総理大臣などに提出されました。

免許センターでの日曜窓口の開始や2月からは代理人による返納申請を始めた。今後、高齢者の移動手段の確保など、高齢者支援対策を推進していく。

【小島議員】学習指導要領が10年ぶりに改訂され30年度から実施されるが、県教委としてどのように対応していくのか。

県政対話集会 in 小島

1月23日、小諸市「市民交流センター」で「信州・新風・みらい」による2回目の「県政対話集会」を開催し、小諸市市民を中心に約80人が参加しました。

健康代表の主催者あいさつに続き、当会派の13名が自己紹介を行い、その後、対話形式で行われた意見交換では、13項目に及ぶ貴重なご発言をいただきました。

6月定例会日程(予定)

- ▽6月22日 開会
- ▽27～30日 一般質問
- ▽7月3～6日 委員会審議
- ▽7日 採決・閉会

代表に下沢議員

下沢順一郎議員が、申し合わせにより副議長職を辞任したことを受け、会派内人事を協議した結果、代表に再就任しました。小島康晴前代表は、代表代行を担うことになりました。

常任委員会等構成 (○委員長 ●副委員長)

総務企画警察	小島康晴	下沢順一郎	◎石和 大
県民文化健康福祉	◎小林東一郎	依田明善	寺沢功希
環境産業観光	山岸喜昭	花岡賢一	
農政林務	高橋 宏	竹内久幸	
危機管理建設	◎埋橋茂人	今井愛郎	
文教企業	荒井武志	◎堀場秀孝	
議会運営	高橋 宏	小島康晴	○今井愛郎
決算特別(内定)	竹内久幸	○寺沢功希	花岡賢一